

事業概要

マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	業務委託	事業類型	その他
担当部課	契約資産部 検査課		
基本計画	編 1 章 3 施策番号 6	持続可能な行財政運営	まち・ひと・しごと創生総合戦略 - -
根拠法令等	-		
事業目的 (最終的に目指す状態)	工事監督員である技術職員の意識の向上を図り、適正な施工を確保し、施工の品質を高めることを目的とする。		

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.39人	0.43人	0.70人	0.27人

指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 技術職員研修 実施回数	回	2	1	2	1	まん延防止期間を避け、感染症拡大防止対策を行いながら、研修を開催したため
②	活動指標 技術職員研修 参加者	人	42	19	40	21	感染症拡大防止対策を行いながら、参加人数を調整し開催したため
③	活動指標 成績評定研修等 実施回数	回	8	4	3	△ 1	まん延防止期間を避け、感染症拡大防止対策を行いながら、研修を開催したため
④	活動指標 成績評定研修等 参加者	人	71	45	39	△ 6	感染症拡大防止対策を行いながら、参加人数を調整し開催したため

事業実績

3年度目標	監督業務を行っている技術職員を対象に工事管理の知識を取得するために研修を行い、監督員、検査員の間で品質向上にむけた活発な意見交換がなされ公共工事の品質の向上を図る。	2年度末時点の課題	監督員業務を行っている技術職員に対して、さらなる公共工事の品質向上のため技術力のレベルアップ。
目標に対する 事業実績	監督業務を行っている技術職員及び人事異動に伴う職員を対象に技術職員研修を2回実施し、国交省関東地方整備局出前講座では「適正な工事施工のための建設業法について」、(財) 全国建設研修センターへの委託研修では、「安全管理、工事における事故事例について」をテーマに事故事例による発注者の責任や安全パトロールの着眼点などについて研修を行った。また、各工事担当課との意見交換会及び成績評定結果の報告会を行った。	課題への対応	技術職員研修では、働き方改革、適正な工期等の取り組みに伴う、新担い手3法の改正の内容と安全管理と発注者責任等についての知識の向上を図った。また、意見交換会及び報告会では、法令の改正等の確認や昨年度の工事成績評定等の傾向を分析することで、今後の公共工事の品質と技術力の向上に繋げるようにした。 一部解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	入札不調等が原因となり、受発注者双方が一定時期に業務集中が発生する。品質確保の観点から、年間検査業務の平準化に繋がる各種施策の検討などを行う。	3年度末時点の課題	工事発注での入札不調等が原因となり、一定の時期に契約検査等の業務が集中している。
4年度の取組	年間検査業務の平準化に向けた、事務効率向上、施工の品質向上及び働き方改革につながる施策等について関係所管と連携して検討する	5年度の計画	工事担当職員の基本的な知識の習得と職員育成のため、工事担当職員研修を行い、各工事所管課と連携しながら、工事担当職員の人材育成を図っていく。